



かがやき

下条中学校だより
令和6年10月号

「探究心に富み しなやかで たくましい生徒の育成」



過去の自分と未来の私

校長 佐藤栄策



軍の練習を進めていくにしたがい、周りを見るために自然と自分の視野が広がり、行き届きにくい部分にも目が行くようになってきました。当日は競技がうまくいかずに心が折れそうになったけど、軍の士気を上げようと頑張ったら、1・2年生や3年生も自分についてきて大きな声を出し、競技に挑んでくれたのがうれしかったです。雨の中、軍全体がひとつになって、まずは体育祭を楽しもうという気持ちになった時、団長としてとても嬉しくなりました。（青「飛翔軍」団長）

一番楽しかったのはリハーサルです。回数を重ねるにしたがい、今までできなかったことができるようになっていくという実感が湧いてきたからです。体育祭はみんなの中学校生活で思い出に残る行事だけど、みんなにとって本当に楽しい思い出にできるのかと考えることで、団長としての責任感が強くなっていったと思います。団長だとかそうでないとかに関係なく、皆が支え合ってくれて助かったことに、感謝を伝えたいです。（赤「瓏輝軍」団長）

体育祭のような大きな行事は、リーダーだけでなく集団全体にとっても、仲間と力を合わせて困難を乗り越えるまたとない成長のチャンスです。雨の中、皆で力を合わせて楽しんだ体育祭はきっと大人になってからも心に残る行事となったに違いありません。

そして唯一無二の下条の特色は、小学生に未来の自分の姿を見せる機会としていることです。今年はその2週後、小学校マラソン大会を中学生が全校応援しました。中学生がたった1回の声で応援すると、小学生が弾けるように全力でサポートする、その姿を見てまた応援に熱が入る・・・まるで小学生の時の自分を応援しているかのようです。あるいは小学生の姿と今の自分を重ね合わせて、成長を実感しているのかもしれない。いずれにせよ、本気で応援できるのは、自分が心から応援されたことのある証拠です。これからも、過去と未来、そして今の自分を応援し続けることのできる人を育てていきます。



【10/3下条小マラソン大会を応援する下条中全校生徒】




【9/21下条中体育祭で熱心に応援する下条小の皆さん】

10～11月の主な予定

※変更になる場合があります。

10/12日(土) 2年生PTA行事

16日(水) 1年生地層観察 

19日(土) 下条小中学園祭(中学発表13時～)

今年度の学園祭は入場制限を設けません。

御家族や地域の皆様、どうぞふるっておいでください。心よりお待ちしております。

20日(日) 家読の日

21日(月) (振替休業日)

23日(水) IJX'Y'講演会、中越地震の日

24日(木) 避難訓練

25日(金) 漢字検定

31日(木) 2年生職場体験学習発表会

11/1日(金) 郡市音楽交歓会参加(午後)

3日(日) (文化の日) 4日(月) (振休)

「暖かい春の日差し。はらりと桜が降ってくる。にぎやかな人々の声と、甘いあんこの香り。」

これは、私がお花見に行った際に感じた景色です。言葉は、その目目に映るものだけでなく、五感で感じた様々なことも記録することができます。

春休みのある日、私はお花見に行き、綺麗な桜を写真に収めました。ですが、撮れた写真を見て、「なんだか違う。」と感じました。肉眼で見える鮮やかさとの違いはもちろんですが、あの場で感じた風や匂いなどの写真に切り取れない様なことが、この桜を美しいと感じさせる背景となっていたのだと思いました。そして、これらを表現できるのは言葉しかないと感じました。

近年では、画面をタップするだけで作業が完了することがほとんどです。サイトへのアクセス、書籍の閲覧、そのどれもが画面で行えます。美しい風景を見たら、シャッターボタンをタップすれば、記録に残すことができます。ですが、それで終わりにせず、少し足を止めて感じる事が大切です。その場の空気や自分の感情。その風景を美しいと感じさせる、写真には写らないものがたくさん眠っているはず。その眠っている何かを、一つ一つ丁寧に見つけ出し、言葉に表したいと私は思います。そして、感じたものを言葉に表すことができた時、私はとても幸せな気持ちを感じることができます。また私は何かに迷った時、よく文章を書きます。複雑のように感じるごちゃごちゃとした感情も、文章に起こしてみると案外単純だったりします。それをあとで読み返して、勇気を得ることもあります。

最近では、日本の子どもたちの精神的幸福度が他の先進国と比べて低いということが問題とされています。精神的幸福度が低い理由として、効率を重視し、自分と向き合うことをしないことが挙げられます。また、SNSを少し覗くだけでも、悩みを持つ同年代の人が多くいると受け取れます。誰にだって悩みを抱えることはあります。ですが、そんな時こそ、少し足を止めて自分の心の中にある言葉を「感じる」事が大切です。心の中には、実は、たくさんの感情が渦巻いているのです。感情を一色だと思わず、自分と向き合い、気付かなかった自分の気持ちを文章に書き出してみてもどうでしょうか。

私には大好きなものがあります。それは詩です。詩は、目で見えるもの、においや音で感じるもの、自分の心にあるものを言葉にして書き表します。音で感じるもの、自分の心にあるものを言葉にして書き表します。

私は星野富弘さんの「すみれ」という詩が好きです。この詩は、身の回りに眠っている美しさや感謝するべきことに気付かずにいる様子が、青春の日として描かれています。

「握り飯をつくってくれた親の心も／足元の花も／気づかずに歩いていって／青春の日」

私はこの詩を読んで、今まで目の前のことに夢中になり、日常に隠れた沢山の美しさや周りの人の支えに目が向けられていなかったと、はっと気付かされました。星野さんの詩を好きになって、「感情は作品だ」と思うようになりました。悲しみや怒りのようなマイナスな感情も、感動や喜びといったプラスの感情も、自分の多様な感情は全て経験だと考えるようになりました。その時、私は世界が広がって見えました。

シャッターボタンをワンタップするだけで写真は簡単に残せます。また、悲しいことがあった際に「やばい」「つらい」などの単純な言葉で表すことは簡単です。ですが少し足を止めて、なぜ喜びを感じるのか、また、つらいと感じるのか、自分と向き合い、言葉にしてみてください。言葉を紡ぎ文章を書くことは、心を豊かにさせてくれます。言葉をつづることで視野が広がり、幸福感を感じることに繋がると思います。大切なものは、案外身近にあると気付くことができます。

少し足を止めて考えてみてください。今、あなたは、どんなことを言葉にしたいと思いますか。

下条中生の活躍

応援
ありがとう
ございました

＜四市二郡中学校新人陸上大会＞※入賞のみ

共通女子砲丸投 優勝
共通男子棒高跳 第2位
共通女子800m 第3位
共通女子走高跳 第4位
共通女子1500m 第5位

＜郡市中学校新人野球大会＞

リーグ3位（下条・中条・松之山中合同）

＜郡市中学校バレーボール大会女子＞

初戦対十日町中 惜敗

＜四市二郡中学校バスケットボール大会男子＞

初戦対塩沢・広神中合同 惜敗（下条・中条中合同）

【御礼】◆9月21日(土)は途中から雨模様の体育祭となりましたが、大勢の皆様の応援のおかげで全競技をグラウンドで行うことができました。◆大玉送りの大玉に空気を入れるコンプレッサーが破損。下条小中学校後援会から購入いただき競技を実施できました。◆泥だらけにならずに気持ちよく競技できたのも、芝生を管理して下さる下条地域の皆様のおかげです。◆熱い声援をくれた下条小の皆さん、とても励みになりました。雨で実現しなかった小中一貫種目は来年2倍楽しみましょう！◆地域の皆様本当にありがとうございました。